

困っている人を、 放っておけない人がいる。

県西フードパントリー 会長 海老澤京子 Ebisawa Kyoko



必要なときに、必要な人へ、必要なものをそっと手渡す。

県西フードパントリーは、そんな静かな支援の場です。会長として関わる海老澤さんの原点は、長年続けてきた交通安全母の会での人とのつながりでした。

「今、できる形でやろう」。海老澤さんの支援は、食品の保管場所がないという課題から、期間を決めて届けるフードパントリーという方法に行き着きます。

初開催の日、市役所に用意したお米5キロ入り150個、食品、野菜、雑貨などは、あっという間に人の手に渡っていきました。「こんなに必要としている人がいるなんて」。その光景が、今も活動が続ける理由です。支援の形を変え、時間をつくり、声をかけ合う。誰かの困りごとを、地域の力に変えていく。

海老澤さんは、今日も、困っている人のそばにいます。

■ 海老澤さんのおすそわけは、
食に困っている人に手を差しのべることです。

連絡先は、メール：ebi.kyo.kabe@gmail.com